

インターハイ2022 男子バレーボール競技大会 香川県(8月3日～7日)

県王者、強豪撃破し全国ベスト16

一関修紅高校 男子バレーボール部

よこがけ あすか **横欠 飛鳥**さん^① **中間 大翔**さん^②
(3年、遠野中出身) (3年、遠野東中出身)



同競技大会は香川県を会場に8月3日～7日まで開催されました。横欠選手、中間選手は県大会を制し、同大会へ出場。全国の舞台でも存在感を示しました。

初戦の土浦日大(茨城)を2-0で破ると、勢いそのままに市立尼崎(兵庫)も2-0で撃破。3回戦の開智(和歌山)には0-2で敗退するも、両選手とも攻守でチームに貢献しました。

横欠選手は、ミドルブロッカーとして出場。素早いクイックやフェイントで相手を翻弄し、得点を重ねました。中間選手は、ピンチをチャンスに変えるビックサーバーとして出場。無回転サーブを武器に相手を崩しチームを盛り上げました。横欠選手は、「頭で考えたプレーを実践することができた」と振り返り、中間選手は、「サーブで得点できたときはチームが一丸になれた」と話し、ともに充実した表情をうかべました。

第57回岩手県猟友会主催安全狩猟射撃大会 宮古指定射撃場(7月31日)

射撃で団体・個人の部優勝

遠野猟友会

ともかず **多田 友和**さん(宮守町鱒沢) **けんえつ 多田 堅悦**さん(同) **まさと 太田代 真人**さん(宮守町宮守)

同大会は7月31日宮古指定射撃場を会場に開催。個人55歳以下の部で多田(友)さんが、個人56歳以上65歳以下の部で太田代さんが優勝。団体の部(3人1組)でも2年ぶりに出場18チームの頂点に立ちました。競技は、転がったり左右不規則に飛び出したりする的を打ち抜き、ポイントを競うもの。多田(堅)さんは、「昨年の悔しさがバネになった。来年も優勝を目指したい」と意気込みを語りました。個人の部でも優勝した多田(友)さんは、「日ごろの練習の成果を発揮できた」と話し、太田代さんは、「運もあったけど結果が出せて良かった」と振り返りました。



写真左から_多田友和さん、多田堅悦さん、太田代真人さん

「キラッと、遠野人。」情報をお寄せください

①市内在住、または市内に通学・通勤する人②市外の学校に在籍する本市出身者——で、各種大会やコンクールなどでおおむね▷県1位(最優秀賞)以上▷全国入賞——の成績を残した人の情報をお寄せください。

■問い合わせ 市経営企画課(☎62-2111内線216)

第45回消防救助技術岩手県大会 岩手県消防学校(6月28日)

はしご登はん県ナンバーワン

市消防本部 遠野消防署

しゅん **菊池 駿** 消防士

岩手県大会は6月28日、県消防学校(矢巾町)を会場に開催されました。地上15mのはしごを素早くのぼる、はしご登はんの部に出場した遠野消防署の菊池駿消防士が14.4秒を記録し優勝しました。8月26日には全国大会が立川市(東京)で開かれ、入賞しました。

菊池消防士は、「災害現場では1分1秒でも早く正確な救助が求められる。今大会をきっかけに、さらに訓練を積んで市民の安全と安心を守る消防士でありたい」と意欲を燃やしました。



消防署内で訓練に励む菊池消防士

第74回岩手県民体育大会 県営運動公園陸上競技場(7月23・24日)

円盤投げ期待のルーキー

水沢第一高校 陸上競技部

まいこ **佐々木 舞子**さん
(1年、遠野東中出身)



佐々木選手は女子3部円盤投げの部門に出場。28.42mを投げ優勝しました。大会当日は自己ベストの29mにわずかに届かなかったものの、2位の選手と約10mの差をつけました。佐々木選手は、「東北大会で上位に入るためには、もっと距離を伸ばさないといけない。ウエイトトレーニングとターンの練習を積み、より上位の大会で入賞したい」と抱負を語りました。

リレーアンカー務め県制覇

花巻東高校 陸上競技部

えいと **佐々木 英人**さん
(2年、遠野西中出身)



男子2部4×100mリレーに出場した佐々木選手は、アンカーを務め優勝を果たしました(記録:42秒45)。3走からバトンを受けた時は2位との差がわずか。スタートからトップスピードを維持し1位を守り抜きました。佐々木選手は、「練習から本番を想定してトレーニングした結果がついてきた大会だった。次は自己ベストを更新したい」と力強く語ってくれました。

岩手県民体育大会優勝者(大学生・社会人)※紙面の都合上、氏名のみ紹介します

■男子 ▷1部400m 菊池拓哉さん(附馬牛町出身)48秒89

■女子 ▷1部200m 佐々木千聖さん(東穀町在住)26秒1 ▷1部円盤投げ 箱石瑞稀さん(六日町出身)30.67m